

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成20年9月4日

【評価実施概要】

事業所番号	2270100353		
法人名	有限会社 介護サービス キャッスル		
事業所名	グループホーム賀茂		
所在地 (電話番号)	賀茂郡西伊豆町宇久須534-1		(電話) 0558-55-3811

評価機関名	静岡県社会福祉協議会		
所在地	静岡市葵区駿府町1-70		
訪問調査日	平成20年3月3日		

【情報提供票より】(20年 2月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計18人	
職員数	9 人	常勤専任4人 非常勤5人、常勤換算8人	

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築	
建物構造	軽量鉄骨造り		
	2階建ての	1階	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(120,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(2月 15日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	6 名	要介護2	0 名		
要介護3	8 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85, 7 歳	最低	72 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	望月医院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

家庭的な温かい雰囲気があるホームで、利用者はゆったりおだやかに暮らしている。代表者や管理者は長い介護歴の中からグループホームならではの地域に密着した、家庭的な『生活』の場の提供と、それぞれの利用者に合わせて個別の対応の必要性について熱い思いをもっており、利用者や家族からの要望でターミナルケアも行っている。近隣町村からの利用者が多く家族や友人などの訪問も多い。開設後の年数が長くなると、利用者のレベルの低下もあり、様々な問題や課題も多くなるかと思われるが、これからも利用者の立場にたった介護の実践を続けていかれることを期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で、課題となった行政との関わりを積極的に行っている。また、地域との交流も、自治会に加入したり、行事に参加するなど交流を図るよう取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に対する取り組みの中で、ホームが持つ課題や改善点等について十分に理解し検討している。外部評価を受ける事の意味についても理解しており、運営推進会議で報告するなど評価を活用している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2~3ヶ月に一度開催される運営推進会議には、西伊豆町、松崎町の行政担当者、地域の民生委員、社協担当者、家族会代表、及びスタッフが参加し、評価結果の報告を行ったり、会議で出された意見を積極的に取り入れサービスに活かしている。また、運営推進会議に地域の方が参加することにより、地域との交流を深めるきっかけにもなっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族との交流は頻繁に行われ、面会の時間も特に制限がなく、玄関のプザーで訪問を知らせれば、いつでも面会できるようになっている。利用者のターミナルケアについても家族、医療機関双方の理解、協力のもと行われている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	プライバシーに配慮しながら、地域事情に合わせて、地域との関係を密にし、地域に根ざしたグループホームにしていこうとする姿勢が伺える。常に、地域に向けてグループホームを開放していこうという心意気を感じられる。

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「福祉」・「介護」といった枠のみでなく、『生活』という大きなステージの上で、『「人として」生きる』を運営理念に掲げそれぞれの利用者に合わせたサービスの提供ができるグループホームを目指している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	代表者、管理者、職員共になんでも話し合える関係の中、理念を共有し、その実践に向けて取り組んでいる。グループホームだからこそできる、きめ細かな対応を実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域の祭り等に参加している。近所の人たちが立ち寄りやすいよう、玄関前にジュースの自動販売機とベンチを設置している。また、中学生のボランティア等を受け入れ、地元の人々と交流することに努めている。	○	地域的に、行事が少なく地元の人々との交流が難しいが、今後も地域の一員として共に支えあえるような双方向の関係作りに取り組んでいくことを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	代表者及び管理者は、評価の意義について十分理解した上で自己評価に取り組んでいる。また、自己評価していく中で、問題点や改善点などの課題が明確になり、対策を検討している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2～3ヶ月に一度開催している運営推進会議には、西伊豆町、松崎町の行政担当者、地域の民生委員、社協担当者、家族会代表、及びスタッフが参加し、評価の報告をはじめ、活発に意見交換をしている。会議で出された意見について、積極的に取り入れ、サービスに活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターと、日常的に連絡を取り合い、町行政からの問い合わせや依頼も多く、行政とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族や面会者等の訪問が多く、利用者の暮らしぶりを伝えている。また、少しでも体調に変化があると家族に電話連絡している。2～3か月に一度定期連絡として、利用者の様子や担当者からのメッセージを添えて便りを送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族がなんでも話しやすい関係作りを心がけ、苦情相談窓口を明示してる。	○	独自に家族にアンケートをとって、運営に反映させていく必要を感じているようであり、家族会もあることから今後の活動が期待される。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動が利用者に与えるダメージについて、十分に理解しており、離職を最低限に抑える努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者及び管理者は、長い介護経験の中から、利用者にとってより良いサービスの提供ができるよう熱意を持って取り組んでおり、その思いを職員に伝え、働きながらトレーニングしていけるよう進めている。	○	働きながらのトレーニングはできているが、職員が外部の研修を受ける機会を確保していくことが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内の施設や同業者が少なく、ネットワークづくりは十分ではないが、地区の交流会にはできる限り参加している。	○	土地柄、また職員配置や業務上難しい点も多いと思われるが、サービスの質の向上のために同業者との交流を通じた活動も期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族や利用者との会話を大切にし、納得した上で入居してもらえよう支援している。近隣の地域からの入居者が多く、“おためし入居”など馴染みやすい雰囲気作りにも配慮している。入居者家族の会もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員は共に過ごし支えあう関係をつくり、共有、共感する場面が多い。食の安全性を考え利用者と共に白菜漬けを作るなど、学ぶ場面のセッティングにも配慮している。生活が一緒にできて良かったと感じることが出来る関係ができています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時や家族の訪問時等にそれぞれの思いや、暮らし方の希望などの把握に努め、出来る限り希望に添った支援ができるよう検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	1階利用者から、センター方式を取り入れた介護計画を作成し、それぞれの意見やアイデアを反映した計画になる様取り組んでいる。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	半年毎に見直しを行い、毎月開催する会議の中で検討している。また課題に対しては、必要に応じて新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームならではのきめ細かな、それぞれの利用者の状態や要望に合わせた支援をしている。そのため、入居時より状態の良くなる利用者が多い。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みの医師による継続的な医療を受けられるよう、受診の支援をしている。また、往診してくれる地域の医師も確保しており、必要と希望に添った医療を受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時や、重度化した時に家族からの希望で、ターミナルケアをしている。ホーム開設時より、職員に看護師を配置し、往診医を確保し、家族、医師、職員が連携を取りながら対応している。終末期に向けた対応ができるということで、利用者や家族にとって大きな安心となっている。	○	本人、家族の気持の変化に配慮して、関係者全体の方針を共有できるよう話し合いの機会を重ねていく取り組みを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の言葉かけは穏やかで、利用者の誇りやプライバシーを損なうような対応はしていない。個人情報についても、注意深く丁寧に扱っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの利用者は、自分のペースで自由に過ごしている。共有空間のソファで仲のよい者同士一緒にテレビを見る人、本を読んでいる人、自分の居室で過ごす人など、自然な形で暮らしている。寝たきりの入居者にも友人たちの面会が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はすべてホームで手作りし、利用者と職員と一緒に準備や片付けをしている。季節感や地元の食材の利用などを大切にし、食事が楽しみになるよう工夫している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	通常週3回、重度者は週2回を目安に入浴の支援をしている。入浴の時間帯は、午後が多い。利用者は満足している。	○	一人ひとりの状態に合わせた意向の把握やその取り組みに向けてこれからも検討を深めてもらいたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式を利用し、それぞれの利用者の生活歴を把握し、力を活かした役割を見つけ出している。ホーム前庭にある家庭菜園の手入れや食事の後片付けをしたり、ボランティアで踊りのグループが訪問してくれるのを楽しみにしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	重度化し、外出が困難になってきた利用者もいるが、それぞれの状態に合った日常的な外出の支援をしている。ホーム内にイチゴ狩りの際の写真が飾られており、楽しそうな外出の様子がうかがえる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームのすぐ裏に山があり、川も近くにあるなどの立地から、安全を考慮し、玄関は施錠しているが、窓も多く、外の景色もよく見えることから、閉鎖的な感じはない。	○	鍵をかけることのデメリットを職員間で認識し、利用者の安全を確保しながら日中施錠しない支援につなげてほしい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2～3ヶ月に一度消防の協力も得ながら、防災訓練を行っている。また、地域からの要請もあり、屋外に消火栓の設置をしている。入り口近くにヘルメットと飲料水、また倉庫に毛布や食糧等の備蓄をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェックをし、それぞれの状態にあわせ、必要に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は季節の雛飾りや、利用者の写真付きのカレンダー、手芸や習字などが飾られソファのコーナー等生活感が感じられる温かみのある空間になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ゆとりのある広さで、自宅で使用していた物をそのまま持ち込むこともできる。また利用者の状態に合わせてベッドの高さの調節を行うなど工夫している。		